

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
審査委員会 受付番号	2019-3004	利用するもの	試料: なし 情報: 基本情報、ジェノタイプ情報、循環器疾患のリスク因子に関連する調査票情報、循環器疾患のリスク因子に関連する検査情報		
主たる研究機関	岩手医科大学 いわて東北メディカル・メガバンク機構		分担 研究機関	GeneTech株式会社	
研究題目	循環器疾患リスク因子のポリジェニックスコア算出システム開発と評価		研究期間	倫理審査委員会承認日～ 令和5年3月31日	
実施責任者	清水 厚志	所属	岩手医科大学		職位 教授
研究目的と意義	循環器疾患のリスク因子である血圧、血糖、脂質、肥満等は、多数の遺伝要因が関わる複雑形質である。本研究では、循環器疾患リスク因子を対象形質として、ポリジェニックスコア算出システムを開発し、スコアと形質との関連を評価する。本研究により、循環器疾患リスク因子を保有しやすい高リスク者を同定する技術を確立し、高リスク者に対する予防医療の発展に貢献する。				
研究計画概要	日本人を対象とした大規模なゲノムワイド関連解析が進められ、血圧、血糖、脂質、肥満、腎機能、肝機能等の循環器疾患リスク因子のゲノムワイド統計量が一般に公開されている。本研究では、公開されているゲノムワイド統計量を用いて、循環器疾患リスク因子のポリジェニックスコア算出システムを開発する。具体的には、遺伝統計学的手法である Pruning and Thresholding 法および LDpred法を検討する。東北メディカル・メガバンク計画 TMM CommCohort Study に登録されている 8.3 万人のベースラインデータを用いて、ポリジェニックスコアと形質の関連を評価する。				
期待される成果	本研究により日本人に適したポリジェニックスコア算出システムを開発することで、遺伝情報に基づく循環器疾患リスク因子の予測ができるようになると期待される。遺伝的素因を加味した個別的な循環器疾患リスク因子の予防に貢献し得る。				
これまでの倫理 審査等の経過	岩手医科大学医学部 倫理審査委員会迅速審査(令和2年2月承認)				
倫理面、セキュリ ティー面への配 慮	TMM計画およびGeneTech株式会社のセキュリティポリシーを順守する。機微性の高い個人識別符号(個人のゲノム配列など)は東北大学東北メディカル・メガバンク機構のスーパーコンピュータ内で保管される。				
その他特記事項	本研究は、GeneTech株式会社からの受託研究費によって実施され、これら企業からの研究費の提供は契約を締結している。本研究に関係する研究者は、本研究に関係する企業等から個人的な利益、大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。なお、研究成果に不正な偏りが発生することのないよう、客観性のある研究評価体制に留意し実施します。				
(事務局使用欄) * 公開日 令和2年3月17日 * 東北大学東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 試料・情報分譲室(022-272-6955)					